
NEWS RELEASE

デジタルガレージのオンライン決済事業、年間総取扱高が1兆円を突破 スマホ決済の浸透などを追い風に、年間総取扱件数は2億件を超える

株式会社デジタルガレージ（東証 JASDAQ 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼グループ CEO：林 郁、以下：DG）の子会社で、決済事業を手がける株式会社イーコンテクト（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：踊 契三、以下：イーコンテクト）とベリトランス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：篠 寛、以下：ベリトランス）が、2015年1月1日から同年12月31日までに取り扱った決済額の総額は、対前年比19.6%増の1兆676億円で、初めて1兆円を超えました。また、同時期の総取扱件数は、前年同期比21.4%増の2億1489万件で年間2億件の大台に乗りました。

2015年の総取扱高の伸び率（19.6%増）は、国内のEコマース市場の予測成長率である年間14%増を超えました。この背景には、イーコンテクトとベリトランスがDGグループの株式会社カカクコミのサービス「食べログ」と連携した飲食店向けのスマートフォンを使った対面決済など新規市場の開拓に力をいれてきたことや、不動産や葬儀、自動車運転免許といった特定市場に向けた決済サービスを積極展開してきたことなどが挙げられます。また、個人間売買（フリーマーケット）サービスの浸透などにより成長が著しい個人間のEコマース取引において、購入者の決済のみならず出品者への支払い決済の提供を始めたことも、成長をけん引しました。支払い決済は、金融庁への資金移動業者登録を経て、銀行口座への送金及びコンビニ店頭での現金払い戻しサービス「CashPost」の提供により実現しています。このほかにも、訪日観光客や日本のEコマースサイトに海外からアクセスするユーザーによる、いわゆるインバウンド需要の増加に連動し決済の取扱が増えたことも成長の追い風となりました。

DGグループは、今後も決済事業の拡大を続けるべく、FinTech領域における投資や、投資先の技術を活用した新事業の立ち上げを積極的に行っていきます。すでに2015年6月にはイーコンテクトが、ビットコインによるオンライン決済サービスの提供を日本で初めて開始しています。このほかにも、ビットコインを支える基盤技術であるブロックチェーンの応用に強みのあるスタートアップ企業への投資、ブロックチェーンを使ったサービスにおけるクレジットカード会社や銀行との協業なども検討しています。

【DGグループオンライン決済事業成長推移図】

